

2024年度 授業改善推進プラン(全体計画)

学校経営方針(学力向上に関わる要点)
自ら考え たくましく生きる 確かな学力の定着 ○「できた」「わかった」を感得させることにより「学ぶ意欲」の向上を図る。 ○朝学習や補充学習活動の充実、家庭学習の定着により基礎・基本の定着を図る。 ○3年間を見通して、志望する上級学校へ進学できる学力の定着を図る。

授業改善の重点
具体的な方策 ○学校支援ボランティアの活用 ○小中3校教員での授業参観と協議会の実施 ○小中協議会を踏まえ、校内研修会にて改善策を立て実行する。 身に付けさせたい力 ○できる学力 ○わかる学力 ○学習規律

	国語科	美術科	総合的な学習の時間の指導の重点	特別の教科 道徳の指導の重点		
各教科の指導の重点	○授業のねらいを理解させ意欲的に取り組ませる。 ○毎時間の中で、語彙力を高めるための学習に力を入れる。また、興味関心を高める指導を工夫する。 ○表現する力を身に付けるために毎時間書く活動を取り入れる。 ○読解の力を付けるために音読を重視した取り組みを行う。 ○言葉を通して自分の思いを伝えられるような取り組みを取り入れる。	○豊かな発想や構想を練る力が育つような工夫を行う。 ○創意工夫して表現する力の育成のために、個々に応じた助言による個別指導を充実させる。 ○良さや美しさを感じ取る力が育つような工夫を行う。 ○多様な芸術作品の鑑賞や作品の相互の鑑賞を通して感性を育むような取り組みを進める。		○学年に応じた課題を設定し、今までの知識と関連させながら学びを進めていけるよう工夫する。 ○学習したことは新聞にまとめたり、発表したりするなど言語を通じた活動を重視し、表現力が育つよう工夫する。ICTを活用した資料作成・発表も行っていく。	○副読本や他の資料での学習を通して、人としての大切な生き方を学ばせる。 ○様々な機会に公徳心を高め、規範意識の向上を図られる工夫をする。 ○生命を尊び、思いやりの心をもつ生徒の育成を目標に、様々な場面で共に考える指導方法の工夫をする。 ○授業を通して自分の心と向き合い、真剣に生き方について考えられるよう工夫する。	
	社会科	保健体育科				
	○授業のねらいを示し、主体的・意欲的に取り組ませる。 ○学習への興味・関心を高めるためにICTや視聴覚教材を活用した指導を工夫する。 ○表現する力を身に付けるために意見や感想を書いたり、発表する活動を取り入れる。 ○グループ活動による話し合い・学び合いで、協調性や表現力を育む。 ○家庭学習の定着と充実による基礎・基本の定着を図り、授業で「できた」「わかった」を体感させ自己肯定感を育む。	○学習規律を確立し、全員で実施する準備運動、補助運動、補強運動を充実させる。 ○種目に合わせた学習カードを活用することで、目標設定、個人の課題や集団の課題についてを考えさせる。 ○運動することの楽しさやルールを守ることの大切さを学ばせる。 ○集団の一員として、主体的に集団に貢献しようとする意識・態度を育む				
	数学科	技術・家庭科				
	○授業の中で、問題を解く時間を十分に確保し、丁寧な設問指導を行う。 ○答えにたどり着くまでの過程を明確に書き残すことを徹底させる。 ○思考の過程を自分の言葉で説明する機会を多く設ける。	○わかりやすい言葉での説明を心がけ、生徒の集中が持続するよう工夫する。 ○1人1人に目をかけ、根気よく作業に取り組めるようにする。 ○プリントや設問形式を多用し、興味関心を引き出すようにする。 ○作品作りを通して自信を持てるよう個に応じた支援を行う。	特別活動の指導の重点			
						○学校行事を通して、集団として協力して何かを成し遂げる達成感を味わえるようにする ○行事や学級での取り組みを通して自己肯定感が育つよう工夫する。 ○学校、学級、その他の場面でリーダーが育つような取り組みを進める。 ○学級活動や学年活動の中で、個々の役割を見つめさせ、他を認める大切さを学ばせる。
理科	外国語科					
○基本的な内容をわかりやすく、強調して説明し、基礎的・基本的な知識や技能の習得を図る。その際、日常生活との関連を示したり、実物の観察や実験をとおして考えさせる工夫を行う。 ○思考力、判断力、表現力の育成のため、自分の言葉で書いたり、発表したりする活動を重視する。また、少人数での実験や班・クラスでの話し合いをとおし、教えあい、学び合う機会を設ける。	○効果的な少人数授業等を通して、1人1人の生徒への指導を充実させる。 ○基礎的、基本的な知識、技能が定着するようICTを用いた家庭学習にも力を入れさせる。 ○音読テスト、単語テストなどの小テストの機会をできるだけ増やし、生徒の学習意欲を引き出し、達成感を味わうようにしていく。 ○学習した内容を繰り返し練習させる取り組みを工夫する。 ○ペアやグループ活動、スピーチ発表等を通して、自己表現力を高める。					
音楽科						
	○授業の狙いを理解させ、意欲的に取り組ませる。 ○実技の表現活動で、個々の技術向上を充実させ、習得したことを実感させる。 ○練習しやすい楽譜の工夫、個人練習と個別指導の時間設定の工夫を行い、効率よく学習に取り組めるよう工夫する。 ○生徒の自治意識が育つよう、パートリーダーの育成等の取り組みを行い、集団の力を育てる。					

	指導方法の工夫・改善により、基礎・基本の定着を図る。	授業力の向上、適正な評価により、学ぶ意欲を高める。	家庭学習の重要性を認識させ、その定着に全校で取り組む。
本校の授業改善に向けて	○教材の工夫 ○多様な授業形態 ○記録や調査、報告や発表の工夫 ○ICTの活用	○授業規律の確立 ○ねらいの明示 ○発問の工夫 ○板書の工夫 ○掲示物の工夫 ○評価基準の明確化	○家庭での学習方法の指導 ○宿題の工夫 ○生徒・保護者の意識啓発と家庭との連携 学習支援ボランティアの協力による水曜日放課後、試験前、休業中補習教室等の活用